



withコロナ時代の市政について、本会議で質疑しました!

PCR検査体制の強化について

Q

妊婦の方、持病のある方への検査体制と相談体制を強化すべきと考えますが、いかがでしょうか。

恩田
副市長

不安を持つ妊婦の方に、PCR検査を受けられるよう支援する。また、新型コロナウイルスに感染した妊産婦に対して、保健師等の定期的な訪問や電話等により、妊娠や出産に関する不安、孤立感の解消、子育ての相談など寄り添った支援に取り組んでいきたい。



高年齢者や持病のある方、介護従事者などへ検査対象を拡げる必要があると思います。神戸市民への支援対策の充実や医療救急体制の確保を要望します!

神戸市では、今まで3回の補正予算を計上し、コロナ対策、市民と市内企業、事業主の方への支援を行っています。これからも市民のみなさまが安心して暮らせるよう、全力で取り組んでまいります。

北区の課題について、久元市長へ要望しました

今年度は、立憲民主党神戸市議員団の政調会長として来年度予算に向けた個別予算要望を取りまとめました。

私から特に、北区の課題である鈴蘭台西町にある北図書館・北区文化センター(旧名称:北区民センター)の駅近くへの再整備や、谷上駅前の再開発・皆森交差点の渋滞緩和を要望しました。



今年も市民の皆様からいただくお声を議会で発信し
神戸市政を前進させていきます!

